

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 28 年 2 月 12 日 (2016.2.12)

【公表番号】特表 2015-500873 (P2015-500873A)

【公表日】平成 27 年 1 月 8 日 (2015.1.8)

【年通号数】公開・登録公報 2015-002

【出願番号】特願 2014-548735 (P2014-548735)

【国際特許分類】

A 6 1 K 51/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 49/02

A 6 1 K 49/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 12 月 17 日 (2015.12.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

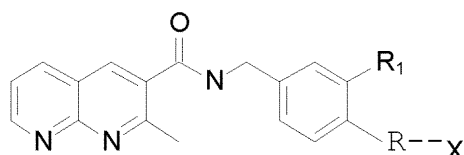
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

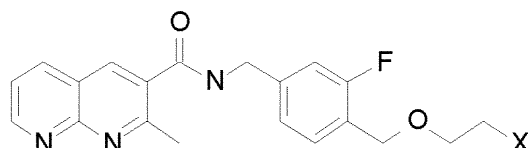
イメージング剤において、次の構造



[ 式中、 $R_1$  は H、F、 $CF_3$ 、Cl であり、R はリンカーであり、X は前記イメージング剤のイメージング成分若しくは放射性同位体又は類似体若しくは薬学的に許容される塩である ] を有することを特徴とするイメージング剤。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のイメージング剤において、



X がイメージング成分であることを特徴とするイメージング剤。

【請求項 3】

請求項 1 に記載のイメージング剤において、前記リンカーが、直鎖、分岐若しくは環状のアルキル、アリール、エーテル、ポリヒドロキシ、ポリエーテル、ポリアミン、複素環式、芳香族、ヒドラジド、ペプチド、ペプトイド、若しくは他の生理学的に適合性のある共有結合基又はこれらの組合せからなる群から選択されることを特徴とするイメージング剤。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載のイメージング剤において、X が、フッ素同位体、臭素同位体、塩素同位体又はヨウ素同位体などのハロゲン同位体であることを特徴とする

イメージング剤。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の化合物において、X が、 $^{18}\text{F}$ 、 $^{19}\text{F}$ 、 $^{120}\text{I}$ 、 $^{121}\text{I}$ 、 $^{122}\text{I}$ 、 $^{123}\text{I}$ 、 $^{124}\text{I}$ 、 $^{125}\text{I}$ 、 $^{127}\text{I}$ 、 $^{131}\text{I}$ 、 $^{35}\text{Cl}$ 、 $^{37}\text{Cl}$ 、 $^{75}\text{Br}$ 、 $^{76}\text{Br}$ 、 $^{77}\text{Br}$ 、 $^{79}\text{Br}$ 、 $^{80}\text{Br}$ 、 $^{80\text{m}}\text{Br}$  又は  $^{81}\text{Br}$  であることを特徴とする化合物。

【請求項 6】

請求項 5 に記載のイメージング剤において、X が  $^{18}\text{F}$  又は  $^{19}\text{F}$  であることを特徴とするイメージング剤。

【請求項 7】

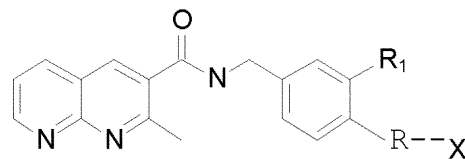
請求項 1 乃至 6 の何れか 1 項に記載のイメージング剤、及び薬学的に許容される担体、希釈液、緩衝液を含むことを特徴とする医薬組成物。

【請求項 8】

キットにおいて、請求項 1 乃至 6 の何れか 1 項に記載のイメージング剤又は請求項 7 に記載の医薬組成物、及び前記キットの使用の仕方の説明書を含むことを特徴とするキット。

【請求項 9】

次式



[ 式中、 $R_1$  は H、F、 $\text{CF}_3$ 、Cl であり、R はリンカーであり、X はトシラート、メシラート、トリフラート、ノナフラート及びハロゲンからなる群から選択される脱離基、又は前記化合物の類似体である ] を有する化合物を含む診断用キットにおいて、前記キットが請求項 1 乃至 6 の何れか 1 項に記載のイメージング剤を調製するために使用されることが可能であることを特徴とする診断用キット。